

## 編集後記

6月号は「都市環境、都市基盤整備、自然再生等」の特集です。環境に関連した特集は例年計画されており、市街地などのインフラ整備から環境対策、建設廃棄物の浄化、都市緑化、景観整備など多くのキーワードをもとに今号も構成させていただきました。

近年の建設業界においては、大変重要かつ優先させなければならない課題ともいえるのではないのでしょうか。

巻頭言は、立命館大学生命科学部の久保教授より、「育てる」と題して桜の生育と土壌環境について、大変わかりやすくご執筆いただきました。

桜の開花は誰もが癒される春の楽しみの一つであり、立派に成長した樹木には圧巻されることがあります。

外国人観光客の中には、桜の花見を目的に来日される方も増えているため、満開の桜花を今後も観賞できるように自然環境の保護に心掛けていきたいものです。

技術報文は、汚染土壌の浄化、生物や自然環境の保全、集中豪雨対策、壁面緑化、景観整備など幅広い分野における貴重な原稿をご執筆いただきました。

普段関わることの少ない技術や施工事例などもあり、特集報文では改めて再認識させていただく内容があります。

近年の都市計画や自然環境対策などにはさまざまな技術が配慮されていることに気付かされます。

5月も暑い日が多くありましたが、6月は夏本番を前に梅雨入りすることで、自然環境にとっては恵みの雨となります。

動植物や生態系、地理状態など継続的にバランスを維持するとともに、人間にとってもストレスや危害のない良い方向に進展してゆくことが望まれます。

最後に、年度末お忙しい中での原稿依頼に対してご快諾をいただき、大変貴重な原稿をご執筆くださった皆様方に、改めて御礼申し上げます。

(三輪・太田)

### 7月号「基礎工、地盤改良特集」予告

・市街地液状化対策推進ガイドランス ・ハイブリッド防潮堤の施工 ・ニューマチックケーソンによる深さ70m大深度立坑築造工事 ・狭隘空間でも施工可能な場所打ち杭工法の概要と施工事例 ・A-CR (アブソリュート・クラッシング工法) ・都市高速道路における ASR 劣化が生じた橋脚梁部の再構築施工 ・空頭制限 2.0m 以下で施工可能な小口径鋼管杭工法の開発 ・地盤改良体方式斜め土留め工法の適用事例 ・廃棄物最終処分場の減容化技術「リフューズプレス工法」の施工 ・大口径相対攪拌工法の概要と施工事例 ・地盤改良分野における ICT 活用技術の紹介 ・大口径掘削工法対応のアースドリル開発 ・三点式杭打機フェニックスシリーズ ・MPD-TMX 工法 ・ICT を導入した全自動施工管理制御システムの開発

### 【年間購読ご希望の方】

①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をもれなく記入のうえ FAX にて協会本部へお申込み下さい。

…官公庁/会社名、所属部課名、担当者氏名、住所、TEL および FAX

年間購読料 (12 冊) 9,252 円 (税・送料込)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	本田 宣史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

見波 潔 村本建設(株)

### 編集委員

新田 恭士	国土交通省
大槻 崇	国土交通省
山口 康広	農林水産省
浅野 仁之	(独)鉄道・運輸機構
加藤 誠	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
荒瀬 純治	清水建設(株)
三輪 敏明	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
中村 優一	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
中川 明	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

### 事務局

日本建設機械施工協会

## 建設機械施工

第 69 巻第 6 号 (2017 年 6 月号) (通巻 808 号)

Vol. 69 No. 6 June 2017

2017 (平成 29) 年 6 月 20 日印刷

2017 (平成 29) 年 6 月 25 日発行 (毎月 1 回 25 日発行)

編集兼発行人 田崎 忠行

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8 電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18 電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1 電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10 電話 (052) 962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30 電話 (092) 436-3322

本誌上への  
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中